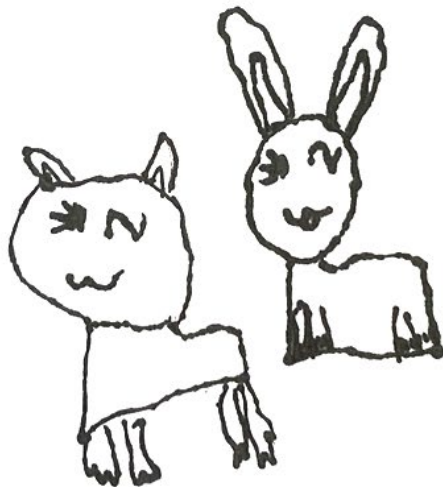


# よ・たち美肌通信

1月号 vol.150

まゆとひま



# 1月

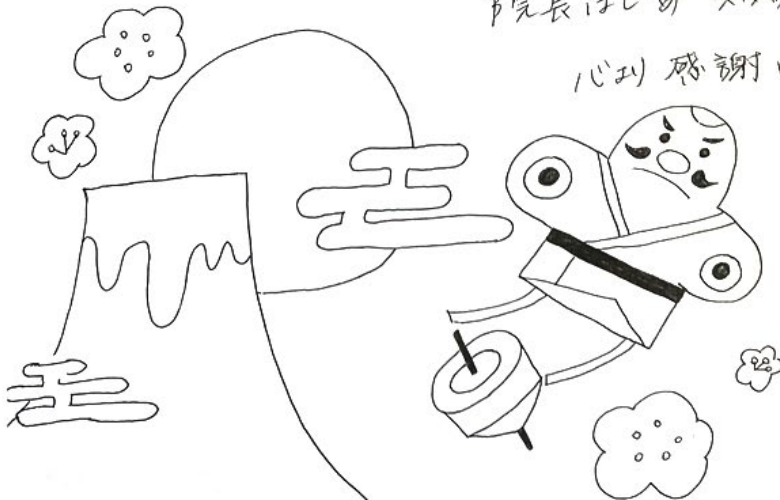
あけましておめでとうございます!!

今日号のとまたち美肌通信の表紙は、  
かゆいらしいウザギちゃんとおネちゃんがお楽しみを  
おさんぽをしているところですよ! お花もえんぴつに咲いていて、  
とっても楽しそうですよ♪

おねかまゆ、セーズでブレスレットを作る事や、ネイルなど、  
キラキラした物が好きで、うたをうたったり、ダンスを  
する事が得意な女の子が描いてくださいました♡♡  
素敵な表紙をありがとうございます!

院長はじめ スタッフ一同

べに感謝いたします



ポール・ゴーギャンの代表作の一つに「我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか」と題された絵画がある。

137億年前のビッグバンに起源が始まり、素粒子や中性子が飛び交い、天や地の境界もない雲霧朦朧とした時が何10億年も続く。やがて大気が冷え、全ての物質のもととなる原子が生まれ、46億年前に地球が誕生した。その地球に水が発生し、その中に単細胞生物が誕生した。これが38億年前のことと言われている。この単細胞生物は10数億年の年を経て雌雄に分かれたと言われている。この時から地球上の生命は多種多様な軌跡を描いて分割発展していく。この一つとして人間もまたその進化の中からある時期誕生したのだ。奥にゴーギャンの、前述した如く我々は遠くから来たということである。太古から今日に至るまで生命は一貫して2つの原理によって存在していると言われている。一つは「代謝」であり、もう一つは「コミュニケーション」である。

生命体は代謝によってエネルギーを作る。そして  
コミュニケーションによって新たな生命体を生み  
出す。この2つの原理に従わなければ地球  
上の生命体は存在し続けることは不可能で  
ある。

この生命を生命たらしめる2つの原理は、人間  
の幸福の原理と対をなす様に思われる。即ち  
あらゆる面で代謝(インプットとアウトプット)を良好  
に行うこと。そして他者(自分以外の全て、対象は生命  
体に限らない)とのコミュニケーションを良くすること。  
そこにこそ人間の幸福感は生まれるのだと思う。先達  
の全言はこの2つを円滑にするために説かれた教え  
に終始するとも、極論すればそう言えるであろう。

脳が求める本能的原始的な生き方とは、自分と  
いう人間が世の中に貢献しつつ安定して生きたい、  
ということであろうかと思う。

遠くから来た人類(我々)は宇宙の中の一塵の生命  
体として幸福を求めて遠くまで歩み続けている  
のかも知れない。

院長, 拝